

## コロナ禍で多くの行事が中止

理事長 棚井 哲雄

コロナ禍で大変な中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

いろいろな意味で輝かしい2020年を迎えるはずでしたが、突然発生した新型コロナウイルスで、世の中はかつてない事態になってしまいました。

初めはあまりピンときませんでした。アツという間に何気ない日常が奪われ、既に8ヶ月。やっとな少し落ち着いてきたかと思いましたが、ここに来てまた感染者が急激に増加している状況です。この新型コロナウイルスは想像以上に曲者なのかも知れません。そしてその包囲網は、ひたひたと我々の身近にも迫ってくるのでは、という不安な今日この頃です。

新年会で、皆さんにお会いして「サーこれから・・・」という後に、世界的なコロナウイルス蔓延の状況に、我々の行事は総会から始まり、恒例の一泊スケッチ会、芸術祭、裸婦デッサン会、合評会等々全てが中止せざるを得ないことになってしまいました。

「止めてしまうのは簡単です」「心が折れてしまう」「意欲がなくなってしまう」という意見もあり、何とか皆さんのご期待に添うべく、行事開催を検討しましたが、感染拡大防止のため村の施設が使えない、密は避けること、各自ステイホームをして外出を避ける等々で、それもかなわないまま今日まで来てしまったのが現状です。

「体調が悪いので何も行事がないければこのタイミングで退会します」と言う方もいました。コロナがなければ、もっと連盟会員として続けることができたかもしれない、と思うと、本当に残念ですし、コロナが恨めしい思いです。

これから先、この状態がいつまで続くのか、果たして収束できるのか、全く予想が立たない中であります。いずれにしても、もう我々はかつての日常を

取り戻せない気がします。となれば「ウィズコロナで新しい日常」を見つけて頑張っていきたいと思えます。皆様におかれましては十分ご自愛頂き、お互い元気に再会できますことを、ただただ祈りたいと思います。東海美術連盟の会員の方々のご健闘を切にお祈りいたします。

### 文化祭

東海村文化祭2020は是非とも開催したいという思いで、8月4日に文化センターで文化祭幹事会を開き、意見交換会をおこないました。48団体のうち15団体が不参加を表明してきましたが参加する団体だけでも文化祭を開催しようという方向になりました。しかし、ここに来てまたコロナ禍の状況が急激に変化してきましたので、改めて参加団体に参加の可否を確認してから8月18日の臨時幹事会で検討して結論を出すことになりました。

3時間30分もの長い時間の幹事会でしたが、結論には至りませんでした。いずれにしても今までのような文化祭ができないまでも、是非とも開催したいという方向で検討しています。皆さんにおかれましては作品の準備と心の準備を是非ともお願いいたします。正式に開催の折には、改めて募集要項の配布をもって、参加のお願いをしたいと思います。



筆を針に持ちかえて  
社会福祉協議会のマスク作成ボランティアに美術連盟として協力しました



仲支部

## 関口 悌吾さんに Tea タイム

絵を描きはじめる、きっかけはどんなことでしたか？

私は昭和25年に高校を卒業して製紙会社に入社しました。その当時、サマータイムが全国で実施され、1日勤めて帰宅しても、午後4時から8時ころまで明るく、何かやらねばと思っていました。

そんな折、満州からの引き揚げ者で近くの中学校の用務員さんをしている方が、夜、油絵を描いていると聞き、2・3回見せてもらい、絵の話などをしていううちに、自分もやってみようと思いました。

絵を描いている、今のようすについてお尋ねします。

来年90歳になりますが、毎日、楽しく絵が描けています。

絵についてのこれからの目標をお知らせください。

県や市の『わくわく展』、中央の『現代パステル協会展』や『日美展』に出品することです。

日ごろから、感じたり。考えたりしていることをどうぞ。

これからも健康でいる間、絵が描けたら、最高の人生だと思っています。



納得のいくまで現場に通って絵を描き上げる関口さん

## 日曜絵画教室2020も始動！ 事務局 埴 千恵子

今年はコロナ禍のなか、木曜絵画教室と日曜絵画教室が統合され、中央公民館で美術連盟主催で6月14日から月2回、静物・人物デッサン・野外スケッチが行われています。現在会員は12名です。

8月の担当は佐藤富夫講師でした。これまで描いたものを完成させるという『まとめ』で、皆さん空白の時間を少しでも取り戻すかのように筆を動かしていました。

本来、教室の目的としては、初心者対象に広く募集していましたが、近年初心者の応募がなく、経験年数の長い方々が、多くなっています。今はその方たちも頼もしい連盟の会員さんです。

そういう皆さんに『一番の悩みはなんですか？』と質問したところ、『バックの処理』『コントラスト』『主役を絞るのがむずかしい』『リアルとそこから絵にする想像力』などいろいろな悩みを聞かせていた

だきました。習うより『慣れろ』という諺どおり、頭で考えることよりたくさん絵の具をいじり、多くの絵に接し、絵に限らず、いろいろなことを経験することも、『肥やし』になって表現も豊かなものになるという先人の教え。成る程と、うなります。

絵画教室の講師は高橋忠治さん、栗原豊さん、佐藤富夫さん、埴千恵子と4人で行ってます。個に応じたアドバイスができればと思っています。

入会者を随時募集しています。ご紹介ください。



ソーシャルディスタンスを守りながら

## 第32回アートロード展、コロナ禍の中を実施

アートロード代表 堀川 豊彦

今年も2月1日から4月末の会期で東海村アートロード展が実施されました。ステーションギャラリー展については絵画・彫刻・工芸・華道部門は、2月2日にスタートして2月8日に無事終了しました。一方、店舗への展示については、搬入は概ね順調でしたが、折からの新型コロナウイルスによる感染症の拡大により営業を自粛する店舗があり、搬出が6月になってしまったケースがありました。搬入が4月の予定であった原子力科学館は休館となってしまったため展示ができませんでした。特例として10月6日～10月25日に展示する予定です。無事に展示できればよいのですが。



NTTドコモの展示風景

多難な今年のアートロード展でしたが、ご参加頂きました美術連盟会員の皆様のご協力に、アートロード代表として深謝いたします。

「暮らしの中の美術館」をテーマに、東海村の街並みを美術館に見立てて絵画・彫刻・工芸・華道・書・写真などの作品を展示するアートロード展も、一昨年には30周年をクリア、平成の時代から令和の時代のアートロード展になりました。高齢化問題は言うまでもないことですが、豪雨や台風などの災害が相次ぎ、新型コロナウイルスの影響で今年開催されるはずだった東京オリンピックも延期、スポーツのみならずいろいろな芸術イベントも中止されるなど、前途多難な令和時代ですが、なんとかアートロードを継続して行きたいと考えております。差し当たっては来年の第33回ですが、オリンピック同様無事実施できることを祈るばかりです。

このような状況下ですが、美術連盟会員の皆様には今後ともご健勝で、美術連盟の活動とともにアートロードにおいても頑張ってくださいと思います。

まだ参加されていない会員の方もぜひご参加頂き、アートロード活動へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



1月18日 今年福祉センター絆でキックオフ 書・写真の方たちと

## 公募展だより

# わくわく美術展

入選おめでとう

いばらきねりん文化祭 第24回茨城県健康福祉祭

令和2年2月28日からザ・ヒロサワ・シティ会館で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため展覧会は中止となり、入賞、入選発表のみとなりました



新緑の溪流  
豊島 和久



水と空のはざまに  
堀川 豊彦



穏やかな時  
吉田 チエ子



初冬のモスクワ郊外  
鴨志田 範夫



ひとときの出会  
佐藤 光保



花貫溪谷に見つけた紅葉  
関口 悌吾



柳萌える頃  
花田 益江



追憶  
番場 正男



山頭火が行く青い山  
安齋 克一

## Information

第2回フォト・フレンド東海写真展 8月30日～9月5日 ※北沢 努(彫刻)による公開制作8月30日(日)午後1時から2時30分	東海ステーションギャラリーA	【会員と北沢、高野(華)】
茨城県芸術祭(県展)	10月3日～10月18日	近代美術館他 【公募】
原研美術部と仲間達展	10月18日～10月24日	東海ステーションギャラリーA 【荒木、柴ほか】
東海村文化祭	10月31日～3日(美術連盟は12月、場所は東海ステーションG)	【会員・非会員】

パレット編集員 木村・高野・埴 イラスト：高野(千) 皆様からの情報をお待ちしています。